

さとひがし



☆自ら学び、心豊かで

たくましい子どもの育成

「み」 自ら学ぶ子

「や」 やさしく思いやる子

「げ」 元気な子

大津市立仰木の里東小学校 学校だより 2月号

令和6年2月7日



立春も過ぎ 春はもうすぐです

今年の冬は、体の芯から冷えるような寒い日もありますが、比較的暖かく過ごしやすい日が多いです。それでも先日は、子どもたちが待ちに待った雪が積もりました。雪が降ると、子どもたちは大喜び。毎日がんばっている子どもたちに、空からプレゼントが届いているようです。

雪が積もった日には、たくさんの子が雪玉を作って登校してきます。その幸せそうな顔を見ていると、こちらまで幸せな気持ちになります。

「登校中は雪合戦をしない」「雪は校舎の中には持って入らない」という約束が学校にはありますので、子どもたちは、名残惜しそうにその雪玉を校門辺りに置いていきます。そんな大切な雪玉を私が受け取り、小さな雪だるまにして門の上に飾りました（写真）。「帰りまで（溶けずに）いてくれるかなあ」そんなかわい言葉を残して、子どもたちは笑顔で校舎に入っていきます。

さわやかなあいさつ・もくもくそうじ・ききめいじん



本校には、子どもたちの「具体的行動目標」として、「さわやかなあいさつ・もくもくそうじ・ききめいじん」の3つがあります。常に子どもたちがこの目標を意識できるように、始業式で確認したり、終業式でふり返ったり、学年集会で声をかけたりしています。

学校だよりでもお伝えしているとおり、「さわやかなあいさつ」につきましては、意識のできている子がどんどん増えてきました。生活委員会でも、定期的に「あいさつ運動」をしてくれています。「さわやかな

あいさつができる学校」になるよう、子どもたちと一緒にがんばっていきたいと思います。

「もくもくそうじ」をがんばっている子もたくさんいます。私自身は、校長室や職員室前の廊下を子どもたちと一緒に掃除していますが、担当している4年生は、どの子もチャイムがなる前から掃除場所に来て、もくもくとカー杯掃除をしています。配布物を入れている棚や手洗い場のマットなど動かせるものは動かして、隅々まで掃いたり拭いたり、細い溝に入っているゴミを割り箸で掻き出したり、壁をスポンジで磨いたり…とまるで年末の大掃除のように、時間いっぱいまで丁寧にそうじをしています。

そうじが終わると、みんな満足げな顔で教室に戻っていきます。「きっと午後の学習が気持ちよくスタートできるんだろうなあ」とその様子を感じしながら見えています。このようなすばらしい姿が学校全体に広まっていくよう、引き続き指導を続けていきたいと考えています。



学習のサポート ありがとうございます

3年生が、社会科の学習（昔の暮らし）で七輪体験をしました。何とか炭に火をつけようと、炭を小さくしたり、七輪の下からうちわで扇いだりと、グループの友だちと工夫しながら、協力して火をおこしました。すぐに火が消えてしまい、何度も挑戦するグループもありましたが、最後まであきらめず、どのグループも炭に火をつけることができました。良い体験になったと思います。炭に火がつけられたら、事前に用意しておいた紙

（ミカンの汁で絵や文字をかいたもの）を火に近づけていました。絵や文字が浮かび上がると、みんな大きな歓声をあげていました。

この1年、保護者の皆様には、この学習だけでなく、「やまのこ」や校外学習、裁縫（ミシン等）学習等、様々な学習のサポートをしていただきました。そのおかげで、どの学習でも安全に、充実した活動を進めることができました。本当にありがとうございました。

